2026年 GISHW Tech Symposium



フィジカルAIの未来を、協調安全と国際連携から拓く。

大阪・関西万博のレガシーを継承し、大阪を拠点としたグローバルな産学官連携のもと、フィジカルAI・ロボティクスにおける協調安全、国際標準化、そして新たな産業創出の道筋を議論します。Cambridge大学をはじめとする海外の知見も交え、AIとロボティクスが共生する安全・安心な社会の実現を目指します。

2026年 12月4日（金）　10:20–13:00

会場：インテックス大阪 Hall H

ファシリテーター：大阪大学産業科学研究所 客員教授 栗原潤

使用言語：日本語または英語（AI同時通訳あり）

プログラム（登壇者）

10:20–10:30　開会の挨拶
- 大阪大学産業科学研究所 所長 教授 永井健治
- 日本規格協会 理事長 朝日弘氏

10:30–11:05　セッション1

大阪を拠点とした万博レガシーの取り組みと大阪大学の役割と世界との繋がり
- GISHW チェア 大阪大学産業科学研究所 招へい教授 藤田俊弘
- 大同大学教授 大阪大学産業科学研究所 招へい教授 吹田和嗣
- ファナック株式会社 ロボット研究開発本部 技師長 森岡昌宏氏
- SHIN-JIGEN 代表取締役社長 岡本球夫氏

11:05–11:45　セッション2

フィジカルAI時代の協調安全を巡る標準化政策
JSA、IEC、BSI、Cambridge大学の視点
- 日本規格協会 理事 野田耕一氏
- IEC 副会長 Steven Margis氏
- 英国規格協会（BSI）グローバル担当代表 Kate Field氏
- ケンブリッジ大学 インダストリアル・イノベーション・ポリシー（CIIP）及び産業安全イニシアチブ（GIFIS）ポリシー・アナリスト Francisco Veiga-Pereira氏

11:45–11:55　休憩

11:55–12:55　セッション3〈パネルディスカッション〉

協調安全、AI・ロボティクスにおけるCambridge大学と大阪大学を中心とした連携 ―グローバル産官学連携による新産業立国を目指して―

使用言語：英語（AI同時通訳あり）

モデレーター：大阪大学産業科学研究所 客員教授 栗原潤

パネリスト
- ケンブリッジ大学 インダストリアル・イノベーション・ポリシー（CIIP）ユニット部門長及び産業安全イニシアチブ（GIFIS）Carlos López-Gómez氏
- IEC 副会長 Steven Margis氏
- 大阪大学産業科学研究所 招へい教授 梶屋俊幸
- 英国規格協会（BSI）グローバル担当代表 Kate Field氏
- ファナック株式会社 ロボット研究開発本部 技師長 森岡昌宏氏

12:55–13:00　閉会の挨拶
- 大阪大学産業科学研究所 所長 教授 永井健治

参加申込

12月4日（金）
GISHW Tech Symposium
参加登録はこちら

会場アクセス

インテックス大阪
大阪市住之江区南港北1-5-102

公式アクセス案内

※プログラムは変更になる場合があります。

※本企画は、令和8年度「基盤的共同研究開発に関するオープン＆クローズ戦略策定の推進体制整備強化に向けた実証調査事業（経済産業省）」として実施されます。

共催　後援　GISHWコンソーシアム